

健康・美容ブームで

「発酵」人気はますます盛ん。

味噌、醤油、納豆、鯉節、ビール……。

江戸の町では

くず餅だって発酵食品なんです。

そんな「時間が磨いた逸品」を探しに、

塔下町に出かけましょう。

特集

時間をかけて、磨かれて。

「逸品」を見つけに塔下町散歩

塔下町の“時間が磨いた逸品”は食品だけにとどまりません。理科室に収まっていた実験器具が、いまや調理器具やインテリアとして大人気。古さと新しさが“いい味”を醸し出すクラフト雑貨も誕生しています。



理化学ガラスは、耐熱性が高い、溶出物がなく衛生的、さらに透過性に優れ、透明度が高いという特長があります。それらを生かして、珈琲ドリッパーや照明カバー、小魚を飼うアクアリウム、植物を育てるテラリウムとして商品化されています



ビーカー・試験管、“懐かしい～” アイデア次第で用途広がる、“新しい!” リカシツ

大学や製薬会社の研究者向けの理化学ガラス用品。製造するのは1933年創業の関谷理化という会社。一般人から「どこで買えるの?」という声が寄せられ、アンテナショップ「リカシツ」が2015年4月に開業しました。場所はガラス職人が多いエリアの清澄白河。ビーカー、試験管、フラスコといった理化学用品がインテリアや調理器具、アクアリウムなどに“変身”して人気を博しています。「何に使う?」…考える楽しみが広がります。



売れ行きトップはビーカー。3タイプ(普通、背が高いトール、口が細いコニカル)、9種類あります。加工性の良さから取っ手付きのオリジナルビーカーが誕生しました

- 住所：江東区平野1-9-7 深田荘 102
- 電話：03-3641-8891
- 営業時間：平日 13:30～18:00 / 土・日曜日・祝日 13:00～18:00
- 定休日：不定休 (HP内の最新情報をご確認ください)
- アクセス：都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線清澄白河駅より徒歩約3分
- <http://www.rikashitsu.jp/>



テラリウムの育て方をはじめ商品について関谷さんが教えてください。また小魚や小エビのアクアリウム作りなどワークショップが開催されているので、体験してみても(開催日など詳細についてはホームページをご覧ください)

いにしえ 古と今が溶け合うクラフトショップ 古今 (co-con)

清澄白河は、東京都現代美術館や清澄庭園、深川江戸資料館があり、“コーヒーの街”“本の街”として注目されるエリア。2015年7月に「ライフスタイル雑貨店」古今が開業しました。コンセプトは「古き時代のモノと今を語るモノの融合」。手織りのマフラーや服、和紙のアクセサリ、畳の縁のベルト、古布のiphone ケース、染付けの器など、職人技が光る雑貨やアート小物たちが大歓迎です。



縦糸に、様々な素材と色合いの横糸を織り込んでいく「さをり織り」。もりあきさんの作品はオンラインワンの1点もの

畳縁がベルト職人の手にかかり色鮮やかで丈夫なベルトに。明治30年創業の下町職人によるタバコケース。小田原の寄木細工の名刺入れ。帯や古布から作られたiphone ケースなど、職人の心意気を感じられます



空き缶などをリサイクルして作ったブリキの自転車はマダガスカル産。車輪も回ります(横16cm・高さ10cm)



4年半、清澄白河で暮らした経験のある新上さんは、「下町なのに新しさがあって、新旧が調和している」ところに惚れて開店したそう。友人・知人をはじめ、雑誌で出会った作家さんに連絡したりして商品を揃えています。

- 住所：江東区三好2-8-1
- 電話：03-5875-8995
- 営業時間：11:00～19:00
- 定休日：月曜日
- アクセス：都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線清澄白河駅より徒歩約7分

